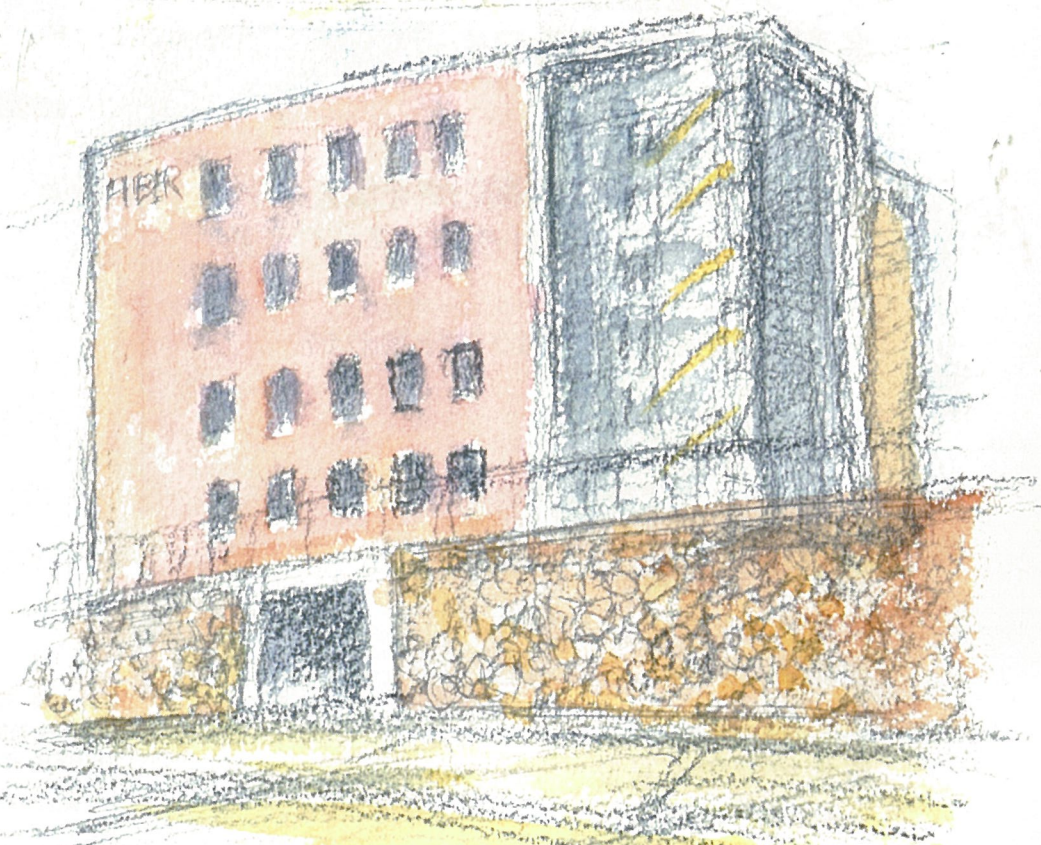


KONAN VISION ● あなたの目で確かめる、甲南の実力

世界に通用する会計士を 甲南から送り出す!



研究室訪問
電子部品の微細回路開発
ケータイ電話が名刺入れに収まる日も近い!?



「恩賜の杖」(鳩杖はとつえ)

鳩杖は、辞書によれば「80歳以上の功臣に宮中から下賜された。鳩は食する時にむせない鳥であるとし、これにあやかるため、老人用の杖の握りの部分に鳩の形をつけたもの」とあります。学園の創立者平生鈺三郎先生は、1945年、枢密院顧問官の功績により、この鳩杖を賜りました。現在は1号館1階にある学園史資料展示室で陳列されています(入場自由)。学園の歴史を広く知っていただき、平生先生の建学の精神を継承していきたいと願い、このコラム欄を「鳩杖」とネーミング。1952年に甲南高校をご卒業された中井久夫先生に当時の様子を書き下ろしていただいています。

冬 思い出す甲南の四季／冬は電車がひととき
混雑／着ぶくれた誰彼が薄氷踏んで／ポケット
ハンドに背を丸め／上級生への礼もそこそこに
／寺の脇をば駆け上がる／着席すれば茅渚(ち
ぬ)の海／窓辺に静まる冬の波／金剛・葛城の
山ひだも／大阪・堺の発電所・ガスタンク・煙突
も／手にとる近さの水平線／やがて見張りが「ド
ンコ来襲!」／さて午後は何よりも運動部／大
階段の上より望めばグラウンドに／冬の陽早くも
傾いて／途絶えぬ叫びはラグビー部／「嵐と狂
う北風の／六甲(むこ)の麓に球を蹴る」／さら
に陸上部のドッドツという足音に／野球部のカ
ーンという響き／正門右手のテニスコートは／
乾いた球音・審判の声／甲南の裏山は冬枯れて
／春待ちかねる思いあり／その春までに／期末
試験で／山が当たらず青さめる／半ば覚悟の
／ああ及落会議／いつの間にか仲間が集まり／
三々五々と木陰にたむろ／見上げる本館の窓
辺の明かり／待ちくたびれたその果てに／つい
に出てくる教授連／駆け寄っては口々に「ぼく
通つてますか」「誰それは?」／さつそく電話の
あわて者／「おーい、お前通つたぞ」に相手は
ムサる／あわて者は早くあの世に引越し／残
る恩師も数少なく／ドンコ先生もとうに(合掌)。
*ドンコは小林宣光教授。鹿児島出身の酒豪であった。



テニスコート



中井久夫先生

神戸大学名誉教授・医学博士。昭和9
年奈良県生まれ。甲南中学・甲南高校
を経て昭和34年京都大学医学部卒。精
神医学者として治療と研究に従事する。
平成9年4月から文学部人間科学科
教授。平成16年3月に甲南大学を退職、
4月より「兵庫県こころのケアセンター」
所長に就任。「精神医学の経験」全8巻
他、著・翻訳書は多岐にわたる。



インターネットで甲南へ
<http://www.konan-u.ac.jp>

鳩杖





パネリストがそれぞれの立場から平生先生に言及

11月26日(土)。創立者平生飢三郎没後60年を記念して、シンポジウム「若者に向けた夢と情熱—甲南学園創立者の平生飢三郎の軌跡—」を開催。今回のシンポジウムは、岡本キャンパスの824講義室と、東京の甲南大学ネットワークキャンパス東京を遠隔システムで結んでの同時開催となりました。

はじめに杉村芳美学長から「私立大学はいかなる建学精神を持っているかということが大切。だからこそ、創立者の存在は、私たちにとても非常に大きいのです。私たちの心に強く響く平生先生の教育理念は、現在にこそ生かされるべきだと考えております」と甲南教育の目標を交えて挨拶されました。

次いで、スライドで世のため人のために生きた平生飢三郎の生涯を振り返った後、4人のパネリストからそれぞれの立場で講演が行われました。

まず、文学部教授 高阪薫氏は「若者の時代」をテーマに、負けず嫌いであった平生の幼少期から志操堅固で学に励む東京商業学校時代を。東京海上日動保険サービス株式会社損害サービス部長 高田博次氏からは「東京海上時代の活躍」をテーマとして、平生が倒産寸前であった東京海上を救ったエピソードなどを。続いて法学部教

授 安西敏三氏は「若者に向けた大正時代」として、甲南中学校、旧制甲南高等学校を設立した大正時代の平生の教育理念についてを。旧制甲南高等学校の生徒として自由教育を学んだ甲南大学元学長 衣笠茂氏からは「昭和の若者から見た平生飢三郎」をテーマに、戦時下のユニークな平生校長の甲南教育の素晴らしさが語られた。

最後に、理工学部教授 太田雅久氏が、旧神戸移住センターで開催中の「平生飢三郎展—ブラジル移住者の大恩人—」



会場は、参加者でいっぱい

創立者の志を次の甲南に受け継ぐ 平生飢三郎没後60年記念シンポジウム

の紹介が行われた(会期は2006年1月30日まで)。ゲストスピーカーの後は、岡本、東京の両会場において質疑応答を実施。参加者全員が一体となって、甲南大学の明日を見つめるシンポジウムとなりました。

会計大学院認可 2006年4月より開設

来春のスタートを目指す甲南大学会計大学院。昨年10月より「会計高等教育研究所」を設置し、設置申請に向けた準備を進め、今年6月に文部科学省に設置申請を行っておりましたが、このたび、12月5日(月)に文部科学省から設置の認可がありました。12月から募集活動を開始、来年1月から3月にかけて入学試験を実施し、2006年4月から会計大学院を開設します(募集定員30名)。



会計大学院棟(イメージ図)

CONTENTS

WHAT'S NEW KONAN

- 平生飢三郎没後60年記念シンポジウム
- 会計大学院認可 2006年4月より開設
- スポーツ・健康科学教育研究センターシンポジウム
- 先端生命工学研究所の教員研修事業が文部科学省「サイエンス・パートナーシップ・プログラム」に採択
- 第41回摂津祭開催
- 教育懇談会を開催
- 幹事大さんが「のじぎく賞」を受賞

KONAN VISION ● あなたの目で確かめる、甲南の実力

世界に通用する会計士を 甲南から送り出す!

研究室訪問

電子部品の微細回路開発

ケータイ電話が 名刺入れに収まる日も近い!?

意志と団結力で進む、甲南生の自治活動

発進! MY PROJECT

- 大学生活のホントの面白さを伝えたい!
- 英語を「使って学ぶ」チャンスをつくる!

キャンパスの過去と未来が出会う場所 ◆ クロニクル甲差点
キャンパスを沸かせた花形クラブと言えば?

創立より、いまへ受け継ぐスピリッツ

クラブつながりレーション

- バドミントン部
- 女声合唱団アモロージ

Pick up 高・中 Topics

理数特別実験研究

夏休み1週間をかけて、
本格的な理数の謎に挑む!

トウレーヌ甲南学園だより

現地校で学ぶ喜び
—本校からの留学生—

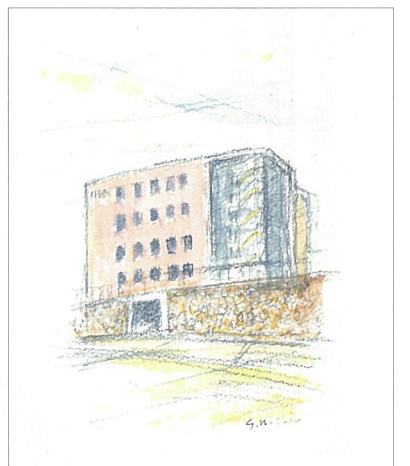
第一線で活躍中の卒業生にアクセス! ◆ IT'S KONAN STYLE

英文学の興味が転じ、紙の修復家へ
甲南で私の生き方を見つけた

甲南フォーラム



表紙の絵



西井 義晃 画
「14号館 先端生命工学研究所
(FIBER) 棟」

西井 義晃さんプロフィール
1961年 甲南大学経済学部卒業
元自由美術会員

次のURLで作品集をご覧ください
<http://webgarou.net>



キャンパス中央に設けられた学生ステージは今年も大盛況

幹隼大さんが 「のじぎく賞」を受賞

10月27日(木)、法学部4年次の幹隼大さんに道路脇の溝に転落し身動きが取れなくなっていたお年寄りを助け出したとして、兵庫県から身近な善行を表彰する「のじぎく賞」が贈られ、長田警察署で賞状などが手渡されました。

幹さんは、9月30日(金)夜、友人宅に車で向かう途中、神戸市須磨区妙法寺の道路脇の溝に転落し、動けなくなっていた女性(92)を発見。車を降りて救助し、女性から話を聞いて自宅近くまで送り届けました。女性は同日夕方から行方不明になっており、家族から長田警察署に捜索願が出され、警察犬で探していたところでした。

今年1月にも目の前で倒れて頭を打った近所のお年寄りを自宅まで送り届けたという幹さんは、「いつも困っている人の手助けを心がけている。おばあさんがけがをする前に見つけられてよかった」と話していました。



贈られた賞状を手にする幹さん

学生が運営する年に一度のお祭り「摂津祭」。今年は11月23日(水)から27日(日)までの5日間開催され、キャンパスはたくさんの方々の学生や地域の方々などで賑わいました。今年のテーマは、5日間の摂津祭を余すことなく楽しんでもらえるようにという願いが込められた「ARE YOU READY?」。ステージでは、豪華賞品が当たるビンゴ大会や「ウォールクラッシュ」など楽しいイベントが盛りだくさん。注目のプロコンサートには、実力派シンガー「MISIA」が登場し、圧倒的な歌唱力で会場を魅了しました。武道系クラブが技を披露する「演武祭」や能楽・演劇、歌舞伎を演じる「演劇祭」、軽音楽部とフォークソング同好会による「野外ライブ」、各クラブの展示など、日ごろの成果を発表するイベントも多く、訪れた卒業生の方々が熱心に見入る姿も。開催3日目には、摂津祭恒例となったイルミネーション

第41回摂津祭開催



各クラブが大学祭に向けて練習してきた成果を発表

や「甲南花火」が学内を幻想的に彩り、来場者から歓声が上がりました。模擬店は例年よりも多い70店が出店して大盛況。また昨年に引き続き、エコロジイ意識を喚起するため、すべての店でリサイクル食器を使用し、「リサイクルステーション」で容器収集を実施しました。摂津祭の企画・運営に携わる学生スタッフを中心に、その他の在校生、地域の方々など、皆で力を合わせて作り上げた手づくりの大学祭は、今年も最後の開会まで、熱気あふれるムードに包まれました。

教育懇談会を開催



2005年度第2回目の教育懇談会を、10月16日(日)岡山市のホテルグランヴィア岡山で開催。中国・四国地区在住の父母を対象に、約80名の参加がありました。また、11月20日(日)には、第3回目の教育懇談会を名古屋市の名古屋ガーデンパレスで開催。名古屋近郊に在住の父母を中心として、約50名の参加がありました。

両日とも、学長挨拶、各学部紹介のあと、伊豫田隆俊キャリアセンター所長が「今年度の就職内定状況とキャリアセンターのサポートプログラム」をテーマに講演。引き続き、学修相談・学生生活・就職などについて個別相談が行われ、担当の教職員がさまざまな質問にお答えしました。



日本サッカーの今後を見極めようと、約250名の方が参加

世界を目指す日本サッカーについて 健康科学の見地から語る

スポーツ・健康科学教育研究センターシンポジウム

「プへ、そして未来へ」と題し、2005年宣言(2005年、世界でトップ10の組織になる)、技術委員会(取り組み内容(トレンセン改革、国体のU-16化など)を中心に講演。精力的に改革を進めている様子がわかるように、随所にビデオを織り交ぜながら、「指導者が変わらなければ選手を変えることはできない」を合言葉に熱く語られました。

引き続き、西田裕之氏('03テグニバーシアード日本代表監督、奈良産業大学助教授・サッカー部監督)が、「競技力向上のキーマン・キーパー・ユニバー日本代表監督の立場から」と題し、ロジスティック・グループ編成など、現場を支援する体制の重要性を強調され、ま



田嶋幸三氏の熱い語りからスタート

先端生命工学研究所の教員研修事業が 文部科学省 「サイエンス・パートナーシップ・プログラム」に採択

先端生命工学研究所(FIBER)が企画した、高等学校・中学校の教員を対象とする研修事業「ナノテクノロジー、バイオテクノロジー、ナノバイオテクノロジーが拓く未来社会」が、文部科学省の「サイエンス・パートナーシップ・プログラム」(略称SPP)事業に採択されました。SPP事業とは、現在日本が目指している「科学技術創造立国」を実現するための取り組み「科学技術・理科大好きプラン」の一環として行われている事業で、そのうちの一つ「教員研修事業」は、「さまざまな最先端の研究成果や研究

施設・実験装置などを有する大学などの研究機関と教育委員会が連携し、教員の方々を対象に科学技術に関する研修を実施する」取り組みです。

FIBERの最先端の研究成果や設備を高等学校・中学校の先生方に触れただき、その体験を通じて未来ある生徒たちの科学に対する関心・興味を喚起し、FIBERの目的である「科学技術の推進及び地域の総合的発展」につながるよう取り組んでいきます。

た森孝久氏('03テグニバーシアード日本代表ドクター、松山赤十字病院医学博士・愛媛FCドクター)が、「競技力向上のキーマン・キーパー・ユニバー日本代表ドクターの立場から」と題し、メディカルスタッフが選手に帯同して行っている体調管理や試合に向けてのコンディショニングの管理などについて、わかりやすく説明されました。

会場に詰めかけた約250名の人々は、3名の講師の話に興味深く、聞き入っていました。

あなたの目で確かめる。
甲南の実力

KONAN VISION

世界に通用する会計士を 甲南から送り出す！

来年度より甲南大学でスタートする会計大学院。
新しい時代の会計士育成の場として広く関心を集めています。甲南の育成する会計士像、
今回は世界的なビジネスの観点からその必要性を探り、また、甲南の育成する会計士像、
それを実現するカリキュラムについて追求し、新設会計大学院の可能性を明らかにしていきます。



いま会計士教育に
関心が高まる理由を、
副学長に質問！

Q そもそも「公認会計士」は、
どんな役割を担っていますか？

A 「公認会計士」の主な役割は、上場企業などの「会計監査」にあります。株式を公開している企業は証券取引法により、会社の決算書類を投資家に対してディスクロース（情報開示）する義務があり、その決算書類の適正性を公正な第三者として証明するのが公認会計士であり、監査業務なのです。



副学長（経営学部教授） 河崎 照行

Q 「会計」情報の役割は、
会社の信頼度を示すだけ？

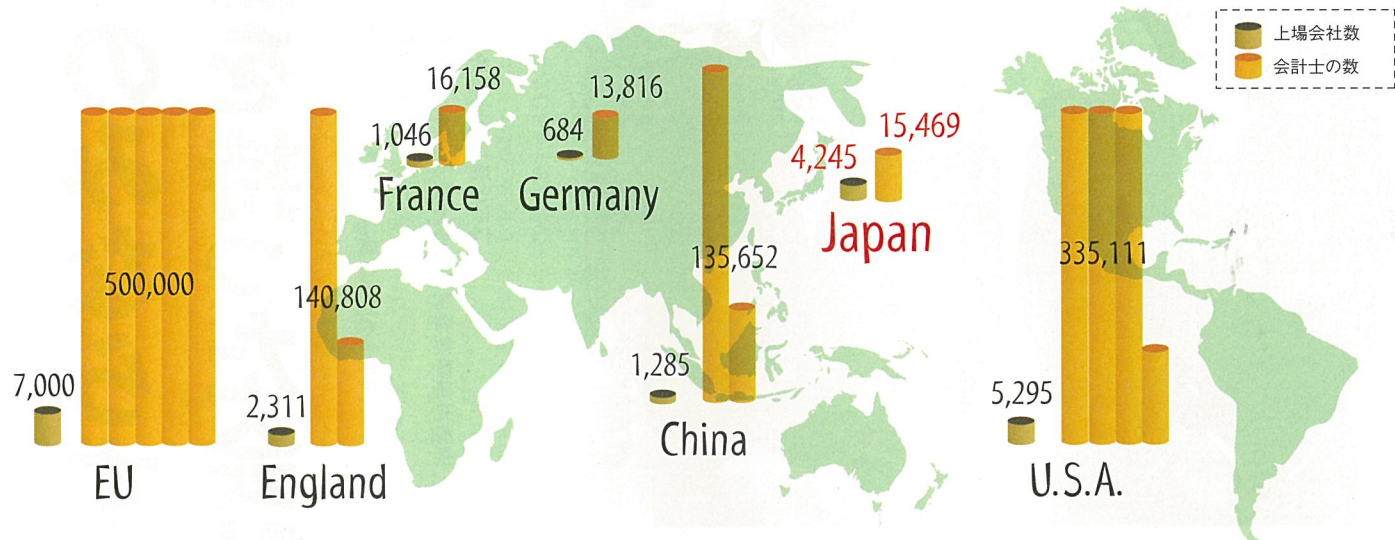
A 利害関係者に会社の信頼度を示すことは確かに会計情報の重要な役割ですが、それだけではありません。会計情報は写真を撮るのと同じように、そのときの企業の経済状況を客観的に捉えて見られるツール。つねに自分の会社がどういう状態にあるかを把握し、戦略を策定するべき事業主にとってこそ重要と言えます。中小企業の事業主には会計情報を軽視する人もいますが、実は彼らが安定した経営を実現するためにはなくてはならないツールなのです。

Q なぜいま、「会計」「会計士」が
注目されているのですか？

A 2001年に起こったエンロン事件に代表される会計不正の問題が大きな要因ですが、もう一つの要因として国際化があげられます。海外の状況を見てみれば（下図参照）、上場企業数に対して公認会計士数が圧倒的に多いことがわかるでしょう。これはつまり、監査業務以外の業務を多くの会計士が行っていることを意味します。例えば、アメリカなどでは圧倒的に企業内会計士が多い。アメリカの事業主は会計情報を経営戦略に結びつく貴重なデータと認識し、会計士を自社に雇い入れているのです。国際化が進み、地球規模でビジネスが行われる現在では、日本でもこのような考え方を取り入れ、企業体質を強めていく必要性が認識され始めました。国の計画では現在1万5千人の公認会計士を、平成30年までに5万人に引き上げていく予定です。余談ですが、破竹の勢いで経済大国となりつつある中国では前首相が国家会計学院の理事長を務めるなど、会計教育を国家的事業の一つと捉え、並々ならない力を入れていますね。

Q 株式市場に対する考え方が、日本と
海外で大きく違うのはなぜ？

A そもそも日本の株式市場のシステムは、アメリカに倣って構築されたものですが、その成熟の仕方は独自の方向に進みました。例えば、グループ企業が株を持ち合う制度もそう。村上ファンドや楽天のやり方について批判的な声が聞かれるのも、日本の市場が独自性を持つており、こうしたアメリカ的なやり方を許さない気風が存在しているからにはかなりません。しかし、グローバルな視点から言えば、村上ファンドも楽天も常識的なルールに則った行動をしているだけ。これからはこうした買収などに備えるためにも企業内で活躍する会計士の必要性が増していくのではないのでしょうか。



Q これからの公認会計士教育は、
どのように変化していきますか？

A 国際化に加え、あらゆるモノが証券化するこれから、公認会計士にこれまで以上に高度な役割が求められるようになると推測されます。そこで今後の会計士教育は、ただ計算ができる、与えられた問題に答えが出せるだけでなく、自分自身で状況を整理し、論理的に判断する力を育成していくことが必要です。また、エンロン事件の反省を踏まえ、より確かな倫理観を持った人材の育成がますます重要になってきました。教育者はこうした状況をしっかりと踏まえ、さらに発展的な教育を実践していかなければなりません。甲南大学の会計大学院は、私たちがその課題に対して出した二つの答えなのです。

Q 公認会計士の試験制度が
変わると聞いていますが…

A より多くの公認会計士の確保と質の向上を目指し、公認会計士の試験制度が来年度より変更されます。新設の会計大学院はこの制度に対応しており、卒業すると二部の科目が免除されます。

新公認会計士試験

短答式試験

財務会計論 管理会計論
監査論 企業法

！ 新試験では、会計大学院を卒業すると、
企業法以外の3科目が免除される

合格

論文式試験

必須（4科目）：会計学、監査論、企業法、租税法
選択（1科目）：経営学、経済学、民法、統計学

合格

業務補助等・実務補習

登録

公認会計士



甲南大学会計大学院は
実際にこれから、
どんな教育を行っていくのか。

資格取得のみならず、 付加価値を持った会計のプロを！

会計士の役割がますます重要になるいま、甲南はどんな会計士を育成していくべきか。
このテーマを、甲南大学大学院社会科学研究所修士課程を修了し、
現在は公認会計士として現場に立たれる中谷紀之さんと、甲南大学会計高等教育研究所長・加藤恭彦教授が語りあいました。
複雑化する国際情勢や企業を見据えた、新しい会計士の育成とは？

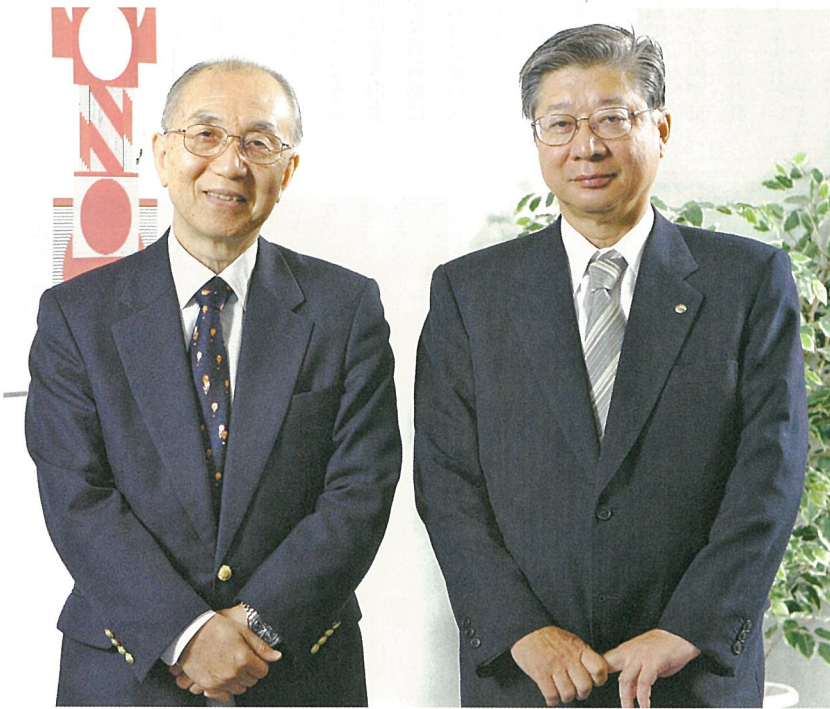
甲南の会計大学院の特色は？

中谷紀之（以下中谷） まずは、母校に会計大学院ができることを大変うれしく思います。私のように会計事務所を経営する立場からすると、会計士教育に厚みが増して、より質の良い人が育つことも大歓迎です。

加藤教授（以下加藤） 今回の公認会計士試験の改正を受け、会計大学院が発足できるようになりましたが、関西で開校する大学はまだ4校。甲南はそのうちの1校ですから、社会的責任をしっかりと受け止めて、皆さんの期待を裏切らない教育を実践していきたいと思っています。

中谷 甲南の会計大学院には、具体的にどのような特色があるのでしょうか。

加藤 一番のポイントは、少人数制ですね。私たちは1学年の定員を30名と予定。これを教えるのは、専任教員14名、非常勤18名の総勢32名のスタッフです。しかも、その教員のレベルが高い。会計



中谷紀之

あずさ監査法人神戸事務所長

’66年甲南大学経済学部卒業後、’68年同大学大学院社会科学研究所修士課程を修了。同年公認会計士近澤協同監査事務所に入所、現在はあずさ監査法人神戸事務所長。数々の監査に従事し、『会計ジャーナル』などへの寄稿や『財務諸表の作り方、見方入門』（第三出版）ほか共著も多数。

大学院の母体は経営学部ですが、その現役教授が5名も移籍しますし、教員の中には公認会計士試験委員の経験者2名、税理士試験委員経験者3名もいます。また、内部だけでなく外部からも会計士資格を持った方に特別講師として参加していただき、答案練習の仕方や講義内容について個別指導し、論文制作のノウハウを指導してもらうなどの試験に対応できるスキルも磨けるよう対応しています。これは他校ではなかなかないことだと思いますよ。

中谷 それはすばらしい。専門家とほとんどマンツーマンで学べるわけですね。

加藤 また、本会計大学院には、経営学部で学んできた人をはじめ、現場で何らかの仕事に携わってきた人、あるいはまったくゼロから会計士を目指す方も入学されますので、入学前教育にも重きを置きました。4月からの学修にバラツキが出ないよう、入学前にまずレベルを測り、基礎的な理解は集中講座でカバーします。

加藤恭彦

甲南大学経営学部教授・
会計高等教育研究所長

会計大学院で新たな会計士育成を目指す。担当予定科目は「監査の基礎」「監査演習Ⅰ」「監査基準Ⅰ」「監査演習Ⅱ」。「監査のコスト・パフォーマンス」（同文館）ほか多数の著作・共著あり

中谷 資格取得を目指すには申し分のない環境といえますね。私が会計士を目指していた当時は、そういう環境がまったく整っておらず、ひたすら独学でしたから笑。また、こうした環境なら、これまでとは違った会計士教育が行えそうですね。

これからは、専門性だけでは通用しない

加藤 といいますと、

中谷 これは私が最近感じるのですが、会計士には会計の専門知識だけでなく、コミュニケーション能力と表現力が重要になってきているように思っています。例えば、監査に必要なリスク分析などは、経営者の方々のお話を聞きながら行っていく必要がありますよね。新しい会計士の中には、豊富な知識を持っているのにそうしたコミュニケーションの能力が低いための確なりリスク分析ができなかったり、また表現力が乏しいため、会社に対し説得力ある説明ができなかったりで、つまりいってしまう人も多いのです。少数で密接に学べる会計大学院なら、この課題に対しても強みが出せそうですね。

加藤 おっしゃる通りだと思います。コミュニケーション能力の低さは、受験対策に偏った暗記中心の試験勉強をしてきた会計士の課題でした。甲南大学会計大学院では、少人数制を生かし、学修課題について学生から教授・フレゼンテーションする機会なども設け、積極的なコミュニケーションを通して生きた学びを展開します。また、実際に監



査法人で実務体験する課外講座も設けますので、現場の方とコミュニケーションしながら、本当に必要なことを肌で感じて学んでいくことができます。また、このことに密接に関わってくるのですが、これからは暗記中心の学修から思考する学修へ転換していくことも大切。ただ詰め込むだけでなく、発信する機会を設けることで、覚えた知識を使って自分でロジックを組み立てる術を身につけて欲しいとも考えています。

中谷 自ら考え、提案できることは、これからの会計士にますます必要な能力でしょうね。最近では企業内の内部監査も義務付けられる方向に向かっていますし、会計の重要性がますます高まっており、企業内でも会計知識を持った人が活躍できる場が増える傾向にあります。企業の舵取りがますます難しくなる時代に、よりビジネスに生かせる具体的な提案力が求められていくでしょう。

加藤 そうだと思います。

社会のIT化、国際化に応じた学びを

中谷 ところでこれからの会計士には、ITの知識が必要になってきます。というのも、最近ではほとんどの企業が情報をデータで管理していますが、プログラムソフトの構築がどのようなになっているのかを理解していないと、正しい判断ができないのです。例を挙げますと、これまでのやり方であれば、会計士が疑問を感じた点は、記録された書類を遡って調べることができました。ところがいまの電子書類は途中の計算過程が書類に残っていないので、不正があつても見つけられないことも多いですね。つねに電算システムそのものとその運用状況の監査などを行わないと、間で情報操作されても気づかない。これは業界内でもとても危惧されている事のひとつです。

加藤 われわれも、その部分は必要だと感じており、いわゆるコア科目として、IT指向の履修モデルを学ぶ時間をしっかりと設けています。ITは私たちが掲げている教育の柱です。

中谷 また現在は特別な大企業でなくても、海外進出するところが多くなりました。進出しなくても、海外と提携して製品を輸出するケースも多くあります。そうなる



現地の税制などにも詳しくないといけません。が会計大学院ではなにか対策をされますか？

加藤 それについては、英文で海外企業の財務諸表を読み取り、分析したり、会計・監査の国際基準を学ぶ科目も取り入れています。甲南大学は、NY州立大学バッファロー校との提携を行っておりますので、そこを通して、アメリカのアカウンティングスクールや監査法人で実地研修する課外講座も行う予定です。経済成長が著しいアジアなどにも目を向け、このエリアで実地体験ができるプログラムも実現できないかと考えているんですよ。

中谷 なるほど。さまざまな課題に対して、総合的な能力を育む教育が計画されているので、厚みのある人材が育ちそうですね。ここで学ばれた学生ならきっと、資格試験を目指すだけでなく、企業内でも自分の力を発揮できると感じました。

加藤 正確な業務が遂行できることはもちろん、さらに国際的な視野やITの知識、倫理感などもしっかりと持ち合わせている。それがこれからグローバルに活躍できる会計士の姿ではないでしょうか。私たちが育成したいのは、そんな人材なのです。

中谷 卒業生の一人として、大いに期待させていただきます。

加藤 ありがとうございます。期待に添えるよう頑張りたいと思います。

	一般入試	AO入試	推薦入試(学内・学外)
定員(30人)	15人	5人	10人
出願資格	大学卒業(見込)者	大学卒業(見込)者で、 一定の資格を持つ者	1. 大学卒業(見込)者で、一定の要件を備えた成績優秀者 2. 3年次で、一定の要件を備えた成績優秀者(飛び入学) ※学外推薦入試の対象は約40校の指定大学
試験科目	●簿記(日商簿記2級程度) ●財務諸表論(大学卒業程度) ●面接審査(口頭試問)	●書類審査(志願理由書など) ●面接審査(口頭試問)	●書類審査(志願理由書など) ●面接審査(口頭試問)
出願期間	[一次] 12月20日(火)～1月5日(木) 窓口受付 1月6日(金)	[一次] 1月25日(水)～1月31日(火)	
	[二次] 2月14日(火)～2月20日(月)	[二次] 5月29日(月)～6月2日(金)	
試験日	[一次] 1月14日(土)	[一次] 2月18日(土)	
	[二次] 3月4日(土)	[二次] (後期入学)6月18日(日)	

What is
your
VISION?

甲南から世界に通用する会計士を送り出せるか。
あなたはどのように思いますか。

※同梱のアンケートハガキにより、広報部までご意見・ご感想をお寄せください。

前号、
甲南FRONT
特集について
ご意見・ご感想

- 都市型大学として地域社会から求められていることをよく受け止めて進めていくべきだと感じます。(04卒・男)
- もっとオープンにPRすべき。この本で初めて知りました。(46卒・男)
- 産学をめざすべきだし、地域の方が利用方法が分かるような広報が必要だと思います。(05卒・男)
- 社会に開かれた大学をめざして今のビジョンを一層充実させてもらいたい。(02父母)
- 企業連携ができれば、PR効果も期待できるので、OB・OGの力を借りてはどうでしょうか。(96卒・女)
- 実際に有益であったケースを今後見てみたいです。(96卒・男)
- 私立大学生に残りのキーワードは、まさに地域貢献。他にない試みを期待し、成果を得てほしいです。(91卒・男)
- 神戸という土地柄を反映していると思います。(90卒・女)
- 面白い取り組みだと思いますが、問題はこれからだと思います。どう成果を出していくか。これからの取り組みを楽しみにしています。(95卒・男)

- さらに地元神戸を元気づけられるように頑張ってください。(89卒・女)
- 大変興味深いです。今後もっとと社会との結びつきを重視してほしい。(94卒・女)
- 目的意識をもって将来のことが考えられるので、いまの学生はうらやましい。(93卒・男)
- 企業が求める人材発掘のよい機会になると思います。(84卒・男)
- 「社会から求められる姿」「現代に求められる新しい融合」を感じました。今後いくつもの成功体験を生み出せるよう、応援します。(95卒・男)
- 一部の企業・組織にだけ利益がもたらされないような、広範囲地域密着型にすべきだと思います。(73卒・男)
- いままであまり地域密着のイメージがなかったが、今後期待できそうです。(99卒・女)
- 大学と地域は本当につながるのだからか、と思いました。(81卒・女)
- 各学部で、それぞれ担当者が研究している内容をホームページで見たいと思いました。(70卒・男)
- 大学から地域社会に積極的に発信していくことで、学生にとっても社会性を高めることにつながると思います。(02父母)
- 中小企業、または個人的に研究開発を進めたい人たちにはいいことだと思います。(81卒・男)

会計士としての専門性を追求し、 企業で生きる柔軟な応用力を培う二つの理念から、 幅広い人材を育む

甲南大学会計大学院では、高い倫理観と高度な知識を備えた公認会計士の育成に加え、企業や非営利・公的機関の羅針盤として力を発揮できる高度専門職業人の育成を目的として設定。この二つの視点から、社会のニーズに応える幅広い人材を送り出します。



世界標準の公認会計士

グローバル・アカウンタント

「世界に通用する人材の育成」という
創立者の教育理念を念頭に、国際感覚を備え、
国際的業務展開ができる会計プロフェッションの育成

具体的な将来は…



公認会計士として監査法人で
法定監査・任意監査・各種保証業務に関与します。

- 公認会計士
- 税理士
- 国税専門官
- その他財務関連の公務員 など

高い倫理観と判断力を備えた会計プロフェッション

企業の粉飾決算など、近年続発する会計不祥事。そんな中、一層求められるようになった高い倫理的判断力を備え、誇りを持って行動する会計プロフェッションを育てます。

国際感覚を備えた会計プロフェッション

国際会計基準審議会(IASB)、国際会計士連盟(IFAC)による会計基準や監査基準の国際標準化に対応。国際的視点を備え、世界で通用する知識・語学力・会計能力を育みます。

育成
VISION

甲南大学会計大学院は、
実際にどのような人を
育成していくのか。



企業で専門性を発揮する

ビジネス・アカウンタント

創立以来多くの経営者を世に輩出してきた
経営学部教育実績を継承し、
健全なマインドを備えた価値創造的な会計プロフェッションの育成

具体的な将来は…



企業内・非営利団体において監査・会計・
ファイナンス・税務などを担当します。

- 高度な専門的知識を有する経理マン
- 経営コンサルタント
- 会計的センスを身につけたSE など

健全なマインドを備えた価値創造的な会計プロフェッション

企業の内部で活躍する会計プロフェッションを育成。例えば、会計データから企業の進路を読み解ける戦略的な経理マン、経営コンサルタントなどを輩出していきます。

IT能力に優れた会計プロフェッション

会計分野にも不可欠なコンピュータ技術などに関する知識を修得。ITをフルに活用し、企業会計を担う経理マン、あるいは会計のわかるSEとしての活躍も期待できます。

先生、知の最前線を
教えてください!

研究室 訪問

今回のテーマ・電子部品の微細回路開発

ケータイ電話が 名刺入れに収まる日も近い!?

電子部品のコンパクト化にはまだ、
飛躍的な進化が期待できる!?

およそ20年前に登場したケータイ電話の元祖は、機器を肩から提げて持ち運ぶ『ショルダーホン』。可動式電話と言うものの約10キロもの重さがあり、まだ実用性には乏しかった。ところが現在のケータイ市場を見渡せば、100gを下回る機器も登場。ポケットに入れて持ち歩いても、



理工学部機能分子化学科
無機工業化学研究室
縄舟 秀美 教授

近畿大学理工学部応用化学科卒業。大阪府立大学工学博士。めっき技術研究室実験補助員として甲南大学に就職し、現在は理工学部機能分子化学科教授。次世代微細配線形成に対応する湿式メタライズシステムの創製を目指す。ものづくりクラスター協議会『次世代めっきプロセス分科会』リーダー。表面技術協会協会賞(2004年)など、受賞多数。

従来の技術を一度覆すことから、
さらなる技術革新が生まれる

微細回路をつくるということは、より具体的に言えば、ポリイミド樹脂などの基板に銅などの電気を通す金属をいかに細かく配置できるか、である。従来はこれをできるだけ細くつくるために、樹脂表面のうち、配線しない部分にレジストという物質を貼り付け、それを銅を溶かしためっき液の中に浸し、電気分解することで覆われていない部分に銅を析出させる方式をとってきた。これが『フォトリソグラフィ法』による配線だ。現在の電子部品づくりの主流でこれまでの技術革新はこの手法に支えられてきたが、レジストを細かく描画するにも限界があり、30ミクロン以下の細さの配線をつくることは難しい。「いつまでもこの技術の延長ではダメだ。レジストを使わない方法を考えないと」。縄舟教授をはじめとする無機工業化学研究室内の研究者たちが取り組んでいる研究の発端はそこにある。

「そこで私たちが考えたのが、ポリイミド樹脂表面の一部をアルカリで処理し、イオン交換樹脂に改質。その部分だけに金属イオンを吸着還元させ、回路を形成するという方法です。説明すると難しいようですが、この方法なら面倒なフォトリソグラフィ工程が要らず、しかも一般家庭で使われているインクジェットプリンタとほぼ同じ装置で精密な回路を簡単に描画できるんですよ」。縄舟教授によれば、これまでの実験ですでに、0.5ミクロンレベルの細さの配線にも成功しているとか。これはなんと、従来の60倍もの精度に当たる。電子機器の超小型化はもう、決し

て夢物語ではない。

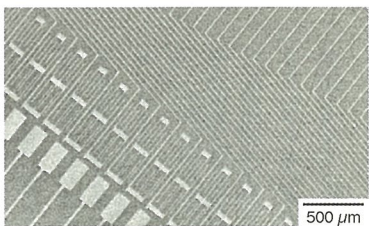
「また、これだけ手軽にできるので産業界に導入されたら開発の効率化・コストダウンにもつながります。そのうえ、ポリイミド表面を直接イオン交換樹脂に改質できるということは、めっき液中で電気分解を行う必要がない。環境への負荷が大きいめっき液が必要ないわけです」。



研究室で終わるのではなく、
日本再生に生かせる研究を

単に微細回路を実現するだけでなく、効率化、コストダウン、環境負荷の軽減にまで配慮したこの技術なら、確かにこれからの技術革新を担っていくことができるだろう。「私たちの研究室は、いま経済産業省の『地域新生コンソーシアム研究開発』というプロジェクトの一部分として、産学官連携で実用化への取り組みを計画しています。今後3年で結果を出していくことが現在の目標ですね」。教授の目線はすでに、産業界を見据えている。

「失われた10年という言葉があります。日本はバブル崩壊後の不況を克服できず、長い間足踏みをしてきました。その間に、中国や韓国がどれだけの成長を成し遂げたことか。私はこの停滞の原因の一つに、過去の技術から抜け出せない日本企業の悪しき体質があると見ています。例えば、この電子部品の製造において



ポリイミド表面を直接改質できることが、縄舟教授の研究の強み。この方法であれば、超微細回路を手軽につくることが可能になる。写真の単位となっているマイクロメートル(μm)は、1000分の1ミリ。

も同じ。従来の『フォトリソグラフィ法』を止めて、次の技術を模索できないわけですから。私自身は、自分の研究を何とか日本が知的財産立国として再生するために役立ててもらいたいと願いつづけていましたが軌道に乗り始めたのは、いまようやく、といったところですね。積年の思いを動力とする縄舟教授のプロジェクトは、まだ走り出したばかり。しかし、これまでの常識を破るそのアプローチは、日本の技術力をもう一度世界に示せる大きな可能性を秘めている。今後の活躍に注目したい。

明日使える 知の玉手箱

折り畳み式ケータイ電話の カタチはどこから生まれた?

世界で見ても、日本は「折り畳み式」ケータイ電話が多い国。その理由は、各メーカーがケータイを頻繁に使う女子高生をモニターにしてデザインを決めており、彼女たちが使い慣れた『コンパクト型』を選んだからとか。

中国のスタンダードな ケータイは名刺型!?

日本人が中国を旅行したとき驚くのが、ケータイのカタチ。この国では、小さな名刺サイズが主流です。カメラや動画再生などの機能を必要としない人が多い中国では、余分な機能を一切排除することでコンパクトな形状を実現しているようです。

韓国メーカーが液晶に強いと 言われるようになった理由は?

ノートパソコンなどでも必須の液晶。現在は韓国企業の生産力が群を抜いていますが、その強さの秘密は「液晶に大型は無理」と言われた常識を彼らがアイデアで覆したことがきっかけ。この例からも、生き残るには発想の革新が重要と言えるでしょう。

FILE 06

アウトプットを重視した
英語学習実現プロジェクト



留学生を歓迎する「ウェルカムパーティ」の様子。今年は34人の留学生が参加し、ゲームやトークなどで盛り上がった。

【甲南大学生協同組合学生委員会外国語コミュニケーションサークルSPICE】とは？

学生の外国語学習への関心を高めるため、設置された生協学生委員会の一部門。メンバー自身が英語を楽しむことから、より多くの学生のために英語を「使って学ぶ」チャンスをつくれるよう目指しています。

英語を「使って学ぶ」 チャンスをつくる!

経営学部 2年次
松本 大一郎さん



主な活動は週に二回のプラクティス。ここでは集まったみんなが英語で話し合い、自分の中にあるモノを出し合います。メンバーの中には一年間の留学を果たしたBA総論コースの学生など、さまざまな体験を持つ仲間

自信を深めて、海外へ
活動したことは誰かの
行動につながっていく

私たちのサークルでは英語に関心を持つ人を集めて、自分たちで英会話力を高めていく自主活動を行っています。英語をしっかりと身につけるには、講義をたくさん履修すればいいと考える人もいるかも知れませんが、私が思うに授業だけでは不十分。授業はインプットの場合ですが、学んだことを活用し、自分のモノにしていくアウトプットの場合がなければ、実力として定着しにくいのです。甲南大学では留学生と交流できる「あじさいルーム」なども設けられています。なかなか自分から留学生と話していくことは勇気がいりますよね。そこで手軽なアウトプットの場を求めて、私たちのサークルには毎年多くの参加者が集います。現在は34人が所属しているんですよ。

英語は授業だけではダメ、
アウトプットの機会を
いかに設けるかが大切

あなたもこのプロジェクトに
触れてみませんか？

生協学生委員会では、より活発な活動を実現していくために、あなたからのご意見・ご感想、あるいは活動への積極的な参加をお待ちしています。関心のある人はこちらまでご連絡ください。
e-mail:kococo@konan-univcoop.or.jp

●夏合宿
サークルの意義・歴史などから確認する合宿を実施することで、「人ひとりが目的を持った活動を展開する」。

●カレッジTOEIC/外国語学習講演会
生協の実施するTOEIC試験のお手伝いや著名人を招く外国語学習講演会のサポート活動なども行う。

その他の活動

間がいますから、単に英語力だけでなく、いろんな文化に関する知識の交換を行っています。また、留学生が甲南に訪れる秋には、自分たちで企画したウェルカムパーティを実施し、ゲームなどで盛り上がりながら交流を図ります。このパーティは本当に楽しくて、しかも自然に英語に触れられる貴重な機会となっています。メンバーの中には、このような活動を通して自信を深め、留学に踏み切る人が多いですね。実際に自分や仲間の世界が広がっていくことを目の当たりにすると、私は代表として自分たちの活動に自信を持つことができます。これからはもっと夢中になれる面白い活動をしていきたい。それでサークル外にもいい影響を与えていきたいと思っています。

発進! MY PROJECT

FILE 05

充実のキャンパスライフ
提案プロジェクト



年2回発行している「Kococom Press」。キャンパスライフに役立つあらゆる情報を掲載したこの冊子は、出来上がると同時に手配りで在学生に配付されている。

【甲南大学生協同組合学生委員会】とは？

生協と学生の架け橋として組織されている学生団体。生協のサービスを知らせる、もっと楽しい学生生活を提案することを目的とし、冊子発行を中心に活動しています。

経済学部 2年次
村上 貴彦さん

大学生活の ホントの面白さを 伝えたい!



私たち生協学生委員会は生協組織の一部として、そのサービスを学生に伝えることを目的に設置されています。ただ、何か決められたことを告知していくのではなく、「知っておくと役立つかも」と自分たちが思うことをピックアップしてほかの学生に伝えていくのが基本スタンス。生協に直接関係なくても、学生生活を楽しくしてもらうための情報ならいろいろ紹介していきます。そのための主な活動として挙げられるのが、まずキャンパス情報誌「Kococom Press」の編集・発行。40ページ程度の冊子を、年2回在学生に届けています。モノクロの簡易印刷なので、バツと見ただけではわからないかも知れませんが、この冊子には実は私たちの相当な努力が詰まっています。なにより、編集会議が厳しい。どれだけ内容を充実できるかを全員必死で考えているので、打ち合わせが朝から夕方までかかることも珍しくありません。企画が決まれば、今度は一人ひとりが受け持ったページの原稿を作成。ページによってはマンガ風に描いたり、取材を行って書き上げるなど、それぞれ最大限の工夫で編集します。

生協の枠にとらわれず、
学生生活に役立つ情報を
収集して、提供していく

人のために力を生かす
その満足感だけが、
自分を動かしてくれる

どうしてそんな苦勞をしてまで生協組織の運営に携わっているのか、不思議に思われますか。私は入学前の新入生を対象に、生協学生委員会が行っている「友の会」イベントに参加したとき、新入生の友達づくりの機会をつくってあげられる先輩の姿に「スゴイ」と感激した思い出があるんです。自分の力の生かし方というのはいろいろあると思うけど、私も誰かが喜ぶために生かしたい。そう考えてこの活動に参加し、いまでも続けているんです。きっとどこにいてもメンバーはどこかでそんなことを感じている人ばかり。これからはもっと絆を強めて、さらに密度の濃い活動を行っていければと考えています。

その他の活動

●生協祭
生協を中心としたイベントを毎年10月に実施。屋台などの出店のほかヘルスチェックが受けられる機会も。

●下宿OMNI(デシユカム)
次期新入生を集めて行う「友の会」のほか下宿生たちのネットワークをつくる機会も提供する。

誌面作りに対する ご意見・ご感想

- オール甲南の集いには参加できなかったのですが、講演会などもっと詳しい内容を紹介してほしいかったです。(ご父母)
- 若者言葉については、私自身も大学で国語学を学んでいたということもあり、興味深く読ませて頂きました。(ご父母)
- 子どもたちの言葉の乱れが気になっていたのですが、今回の研究室訪問を読んで、もう少しおおらかに構えてもいいのかなあと感じました。(ご父母)
- 研究室訪問は、日本語について改めて考える良いきっかけとなりました。('82卒・男)
- 9月に行われたパソコン講習会には家内が参加し、佐藤教授、学生さん方に大変親切にしてもらったと感謝しております。('55卒・男)
- 環境問題をあまり考えない若者が多いので、このプロジェクトは素晴らしいと思いました。('02卒・男)
- クロニクル甲差点について。いま学生がどのような活躍をしているのか、卒業生が何をやっているのかについても興味があります。年代別にアンケートをとるなどして、調べてみて面白いのではないのでしょうか。('00卒・男)
- 次々と新聞に載ったり、TVで紹介されるなど、探検部の活躍にびっくりしました。甲南と言えば、ゴルフやヨットのイメージでしたが認識が変わりました。('78卒・女)
- IT'S KONAN STYLEを読んで、同じ大学の出身者に、植上さんのように頑張っている人がいることを知り、勇気づけられました('88卒・男)

- 卒業生の頑張っている姿を知ることができ、刺激になりました。自分も同じ甲南の卒業生として、胸を張れるよう頑張りたいです。('96卒・女)
- 甲南で10年間学んだ息子が来春卒業します。親子共々、今後の甲南のますますの発展をお祈りしております(ご父母)
- 知っているようで知らない神戸や甲南の歴史に触れられる鳩杖を、毎回楽しみにしています。('90卒・女)



現役クラブ生からひと言！ 経営学部 3年次 松浦庄香
OBの方から強かった選手のお話などをよく聞きます。僕らも1部復帰し、強い甲南を目指したい。

Best 2 硬式テニス部 [46票]

「他大学の学生に甲南生だと言えば、テニス部のことを聞かれた」。広く聞こえた名門クラブ

●甲南と言えば、テニスが強い正統派大学というイメージでした('91卒) ●スター選手渡辺さんがいたから('70卒) ●甲南で一番強いクラブといえばテニス!('91卒) ●甲南テニス部には輝かしい伝統があった('86卒)



現役クラブ生からひと言！ 経済学部 3年次 村田慶
ゴルフ部は現在2部ですが、春・秋のリーグでつねに2位、3位。もっと評価が高くていいかも!?

Best 3 ゴルフ部 [23票]

スター選手の活躍がその地位を押し上げ、甲南生のイメージにびたりとはまった

●いかにも甲南。中部銀次郎を思い出します('69卒) ●他大学にはあまりなく、強かった('85卒) ●自動車部と合わせ、ハイカラな甲南大学にぴったり('74卒) ●大会での活躍が甲南のイメージアップに('70卒)



現役クラブ生からひと言！ 法学部 4年次 目連一憲
現代はいま一つ勝ち切れませんが、次の世代はセンス・パワー申し分ナシ! 期待してください。

Best 4 ラグビー部 [10票]

平生先生も夢中になったというラグビー観戦、実は甲南の精神を一番受け継いでいる!?

●カレッジスポーツ独特の雰囲気と一体感(プレーヤー&応援)の伴うスポーツだと感じる(ご父母) ●平生先生が一番好きだったスポーツ('52卒) ●自分は球技は苦手でしたが、憧れました('45卒)

応募方法

次回テーマ

キャンパス内の「お気に入りスポット」は?

本誌にしているハガキではあなたの意見をお聞かせください。なせか思うのかわからないとお書きくださいと声を聴いて紹介していきます。

同じ甲南生・卒業生であっても年代が異なるというぶん考え方が違ったり、また不思議と共通点があったり、クロニクル甲差点はそうした甲南生の年代を超えた理解を促していくページです。どの年代の方も、いままですべての甲南のイメージに、新しい発見があるかも知れません。ぜひ読むだけでなく、自分の意見を送って、誌面づくりに参加してください。

クロニクル甲差点は、あなたの声でつくられます。

'42~'62卒

1位	ゴルフ部	7
2位	硬式テニス部	6
3位	ラグビー部	6

最も年配の方々を選んだのは、甲南大学の黎明期を盛り上げた各クラブ。これらがいまも活躍していることを考えれば、その伝統はすごい!



'63~'84卒

1位	硬式テニス	33
2位	アメリカンフットボール部	18
3位	ゴルフ部	17

'63に全日本大学テニス王座決定戦で優勝するなど、華々しい活躍を目の当たりにした世代は、こぞって硬式テニスを1位に選びました。



'85卒~現役・父母

1位	アメリカンフットボール部	37
2位	硬式テニス部	7
3位	ゴルフ部	4

'03から関西学生リーグ2部に甘んじているものの、近年甲南生を沸かせてきたのはアメフト。チアリーダーの応援も活躍に華を添えました。



甲南世代ウオッチング・年代別の「花形クラブ」

すべての世代から高い評価を得たのは、実績と見た目の存在感もあってか、アメフト部がダントツ。また、文化部はブラジル研究会、KSWL、古美術研究会などの名前が挙がったものの、上位には食い込みませんでした。さて、各年代ごとではどんな傾向が見られるのでしょうか。

キャンパスの過去と未来が出会う場所

クロニクル 第2回 甲南 差点



キャンパスを沸かせた花形クラブと言えど?

同じキャンパスで過ごした甲南生と言えど、年代が違えば考えることも大きく変わるのでしょうか。このコーナーはそんな世代を超えた甲友の意識の違い・共通点を皆さまのアンケートから明らかにしていく企画ページです。第2回目の今回は、「甲南を代表する花形クラブ」について、読者アンケートで皆さまの意見を聞いてみました。



現役クラブ生からひと言！ 経営学部 3年次 萬慎太郎

アメフト部がそんなに支持されるなんて、驚きました。僕たちは一昨年に2部リーグに落ちましたが、次のリーグ戦では何が何でも勝って、1部に返り咲きますので応援よろしくお願いします。

Best 1 アメリカンフットボール部 [55票]

「それ以外思い浮かばない」という人もいるほど。誰もが憧れた、みんなで応援した、甲南の花形は、やはりアメフト!

- チアガールに囲まれていたアメフト部がいつもうらやましかった('98卒)
- 全国屈指の強豪で名を馳せていた。甲南の求心力だったと思う('79卒)
- よく関東から有名校が来て試合をしていたように思います('87卒)
- 当時は1部リーグで、よく西宮スタジアムに観戦に行きました('03卒)
- 人数が多く、華やかである。OBのつながりもしっかりしている('91卒)
- 食堂で見かける彼らは強そうなおうらがあり、アメカジが似合っていた('99卒)
- ユニフォームなど今風でカッコイイ。王子スタジアムでよく試合していますね(ご父母)
- 強かった。女性にもてていた('69卒)
- アメフトはやはり、存在感が他の部とは別格ですね(ご父母)



池田さんの通うロデーイン校
卒業後は、長年の夢であるヴァイオリン職人への道をいよいよ本格的に歩み出すためフランスに残る決意をしている高橋さん。最後に次のようなコメントを寄せてくれました。「こんな風に私が現地校で学んだことは、振り返ってみると日本に

ついでのことばかり。だから今度こそフランスについてもっと知りたくなったのです。ますますフランスで学ぶ動機ができました」。

地元の名門校の二ツバザック高校へこの3月から通う高橋2年生の林万貴さんは「日本の学校と違ってフランス人の先生は重要なことを全て黒板に書いてくれるので、口で説明したことをほとんどノートに書いていかなければならないのととても厳しい」と話しています。とくにフランス語(日本語の国語)やSVT(生物学)、歴史・地理の授業が難しいそうです。「でも、友達が増えてくれるし、日本人が知らないフランス文化を味わうことができて大変勉強になっています。ここで人種に関係なく接することの大切さも学びました」と張り切った学校へ通っています。

中学生でも頑張っている子たちがあります。本校の隣にあるベシエリ中学へ、この10月から通っている中学3年生の網島慶人君もその一人です。「単語力が伸び、フランス人の友人もできて、積極性が出てきた」反面「少し差別を受ける時があり、また言いたいことがうまく伝えられず勘違いされることもある」という悩みも抱えています。また「日本の勉強がわからなくなるのではないか」という不安も持っているようですが、「とにかく精神的には強くなりました」とこの1カ月の体験を前向きに受け止めているようです。

また、ドーバー海峡を越えて、イギリスのパブリックスクールに留学している生徒もいます。男子の名門ダリッチ校では高校2年生の神田容佐君が、女子の名門ローディーイン校では同じく池田富美さんと陳錦文さんが、それぞれこの9月から来年6月まで学んでいます。神田君はダリッチでの生活を「時速200キロの新幹線に乗っているよう」と表現してくれました。「規則なんかほとんどなく、注意してくれる人もいない環境の中で、全て自分で計画し、実行し、成功しなくてはならない。この留学期間中の一つひとつの行いが自分の将来に直接関わると思うと毎日が自分との戦い。自由であることの責任を痛感しています」と言います。「留学してから3カ月は新幹線で居眠りをして、目覚めたら次の駅にいたようなもの。これからは英単語を一つでも多く覚えつつ、他の乗客たちの旅を楽しみながら、自分の到着駅を目指して頑張りたい」と語ってくれました。

ローディーインで学ぶ池田さんは、この3カ月間は「毎日が冒険の日々」だったそうです。「周りの全てが英語! 英語! 英語! で、初めての1週間は頭がおかしくなりそうでした。でも、なぜイギリスに来たのかをもう一度考え直し、二つずつ楽しみを見つけていくようにしました。そんな中で彼女が見つけたのは、二つ目が「できるだけ多くの生徒とコミュニケーションをとって文化の違いを発見し、また日本語を教えてあげながら友人を作ること」、二つ目が「乗馬」と「クラシックバレエ」。三つ目が「本格的な学問としての授業についていくこと」、そして四つ目が「トゥレーヌで続けてきた茶道をロデーインに紹介し広めること」でした。とくに茶道については、来年度に本校の日本文化研究部員をイギリスに呼び(池田さんは同部の部長です)、「茶道交流会」を実施したいと意気込んでおり、現在先方の先生方と精力的に話を詰めているそうです。池田さんは最後に「クリスマス先生の「Link positive」をいつも頭の中でリピートしています。先生方のお陰で現在の自分があります。毎日悔いの残らぬよう、フランスとイギリスと日本の掛け橋として、頑張っていきたいと思います」と決意を述べてくれました。

若いうちに異文化にどっぷり浸かるという体験は、きっと将来の糧となるはずです。恵まれた環境に感謝し、あらゆることを精一杯吸収し、大きく成長して下さい。「世界に通用する、明日の紳士淑女」たち、頑張れ!!



高橋さんの通うボール・ルイ・クーリエ校

現地校で学ぶ喜び

一 本校からの留学生一

トゥレーヌ甲南学園では、立地条件を生かし、意欲のある生徒たちを地元の各学校へ送り出しています。今回は実際に現地の学校で学び、さまざまな苦労をしながら頑張っている本校生の様子をご紹介します。

ヴァイオリン職人を目指す高校3年生の高橋郁乃子さんは、国立音楽院(コンセルバトワール)付属のボール・ルイ・クーリエ校に、今年の3月から通っています。毎日フランス人に囲まれ、フランス語にとっぴりつかった生活の中で、彼女は二つの発見をしたそうです。「一つは「フランス人の目から見た日本がいかに輝いているか」ということ、もう一つは「日本語の素晴らしい」でした。「日本の性能の良い車、機械、バイク、携帯電話などや、フランスにはないブリクラ、世界で有名なマンガなどをフランス人はとても素晴らしいと言ってくれます。そんな優れた技術と現代的な物に溢れる「光り輝く国」に行くために、日本の文化や日本語を学んでいるフランスの高校生が彼女の周りに何人もいるそうです。「日本人が漢字をもとにひらがな・カタカナを発明し、熟語は漢字、助詞はひらがな、外来語はカタカナなど言葉によって文字を使い分けていることが素晴らしい」と言ってくれる人もいます。彼女は現地校で、まず日本という国を再発見したようです。高校卒業後は、長年の夢であるヴァイオリン職人への道をいよいよ本格的に歩み出すためフランスに残る決意をしている高橋さん。最後に次のようなコメントを寄せてくれました。「こんな風に私が現地校で学んだことは、振り返ってみると日本に



▲ 生物実験は、顕微鏡を臨海施設に持ち込んで観察

その充実度とは言えば、例えば、ウニの発生実験では、これを専門とされている甲南大学理工学部・西方助教に指導を仰ぎ、京都府久美浜まで出向いて実験を行うなど、専門分野ごとに学内外からエキスパートを集め、指導する徹底ぶり。生徒はその指導の下、二連の研究を遂行し、成果をレポートにまとめ、文化祭で展示発表を行えるようにブラッシュアップしていきます。

この取り組みは、10年前に高校で理科コースを設置した際に開始し、これまでさまざまな改良を加え、現在まで継続してきました。生徒にとっては、この「理数特別実験研究」で得た手応えが、将来の進路を選択する上でも、大きな動機付けとなっています。

理数特別実験研究

夏休み1週間をかけて、本格的な理数の謎に挑む!

本校の理科教育の一つの特徴は、実験観察に重きを置いた授業にあります。与えられた問題をただ解くだけでなく、実際に自分の驚きを通して、科学分野への興味を喚起し、また理解力・思考力・洞察力を効果的に身につけていけるよう配慮しています。

とくに高校2年で実施している「理数特別実験研究」はその中でも特徴的なカリキュラム。これは、理数コース・文IIコースの理系選択者を対象とした授業で、対象となる生徒は夏休みを中心とした1週間を利用し、普段の授業では行えない本格的な実験・観察などを集中的に行います。その分野は、物理・化学・生物・地学・数理解科学と多岐にわたっており、生徒はこのうち自分の関心のあるものを選んで参加することができます。



▲ 普段は決して目にできない、興味深い成果に出合える

特別実験研究体験レポート!

「アカネズミの生態調査」に挑戦!

アカマツを中心とした林に罠を仕掛けてアカネズミを捕獲し、行動範囲などを調査してきました。

宮 協 辰 也 君 甲南高等学校2年

「色の化学(色素の合成)」に挑戦!

ベンゼンという物質からメチルオレンジなどの色素をつくる実験は、劇薬を扱うシーンもあり、本格的!

福 田 佑 介 君 甲南高等学校2年

「エネルギー保存則」に挑戦!

振り子型の装置から、おもりを水平に飛び出させ、落ちた地点を測ることで、エネルギーを求めました。

山 下 卓 也 君 甲南高等学校2年

「グラフアート」に挑戦!

数式を入力して得られるさまざまな図形で、絵を描きます。こんなことができるなんて、知らなかった!

堀 田 弘 明 君 甲南高等学校2年

「ムラサキウニ初期原腸胚におけるU0126のリン酸化カスケードの阻害効果」に挑戦!

ウニの遺伝子メカニズムに関する臨海実験を実施。この分野に詳しい甲南大の西方先生の指導が刺激的でした。

藤 澤 憲 人 君 甲南高等学校2年

「ストロボ写真による運動の解析」に挑戦!

物体の落下速度が次第に速くなる様子を、ストロボ写真で確認。実験装置の設定に結構手こずりました。

伊 木 美 太 輔 君 甲南高等学校2年

甲南高生モノ知り生徒手帳 vol.2

甲南高校に梅林ができる?!

平成15年度から毎年2月に、「万葉池」周辺に卒業記念として梅の木を植樹。いつか満開の梅に囲まれた池を目にする日が来るかもしれません。

第一線で活躍する卒業生に、ご自身の生き方についておうかがいするこのコーナー。
今回は、紙本修復保存家というちょっと耳慣れない職業でご活躍の
平田 祐子さんを直撃インタビュー。いまの仕事の様子ややりがい、
この道へと踏み出したきっかけなどについて語っていただきました。

英文学の興味が転じ、紙の修復家へ 甲南で私の生き方を見つけた

平田 祐子さん

1995年文学部卒業



紙 本修復保存家という職業は、文化遺産として貴重な書物などをよりよい状態で後世へ受け継いでいくプロフェッショナルです。例えば、ある作家が書き遺した直筆の原稿。これをいい加減に保管していると、数年のうちに紙が変色し、劣化が進みますが、湿度などを上手に管理し、手入れをしながら保管すればその何倍も長く保つことができるんです。私はそんな役目を担う一人として、現在は伊丹市立美術館を中心に活動を行っています。

この美術館は版画作品がメイン。ですから私が手掛ける仕事も現在は版画の保存が中心です。また近年の美術館では傷み始めたものをどう直すかより、劣化をどう防ぐかという予防の観点が重視され、保管の仕組みを変えていくことが急務となってきました。これまで収蔵庫に無造作に納められていた作品を整理し、環境を整えて保存する仕事に携わっています。また、作品をデータベース

PROFILE

1995年に甲南大学文学部を卒業後、イギリスに渡り、Camberwell美術大学の保存修復学科で3年間の学士課程を修める。インターン生として現地で2年の経験を積み、2001年に帰国。以後フリーの紙本修復保存家として活躍。現在の主な活動拠点は、伊丹市立美術館。

上でも管理していくため、館蔵品のデジタル化に必要な作品調査も手掛けています。こういう時代の節目の役割に携われることには、やりがいを感じますね。

日本ではあまり馴染みがない職業ですから、どこで技術を磨くのかに関心を持たれる方も多いと思います。実は紙の修復・保存技術はなかなか日本では学べません。私の場合はイギリスのキャンバーウェルという学校で3年間学び、その後2年間、同じくイギリスで研修や実際の仕事を通して経験を積みました。ヨーロッパでは文化遺産の修復に対して関心が高く、私の通った学校でも学生たちが非常に熱心に受講していましたね。教わることは非常に多く、技術だけでなく、化学や環境分野の専門知識も身につけなければなりません。正直、3年あっても全然消化しきれないくらいなんです。

私がこんなふうな、人と少し外れた道に自分の生き方を見つけたのは、甲南大学時代にお世話になった英文学科のゼミ

平田さんの
甲友録

足立夕香子さん
'95年 文学部卒業
主婦(旧姓大原)

鶴田郁美さん
'95年 文学部卒業
主婦(旧姓深谷)

東直子さん
'95年 文学部卒業
技術研究所 秘書

教授、松村昌家先生の影響が大きかったかも知れませんが。先生の授業はつねに新しい発見に充ちていて、私は毎回、その知識の深さに感激しながら受講していました。とくに先生の語るイギリスの作家、チャールズ・ディケンズの世界は本当に魅力的で、私が3年次にはじめてイギリスを訪れたのも、「それを確かめてやろう」と思ったのがきっかけだったのです。その

とき訪れたディケンズの家で、私は19世紀後半に没した彼の原稿などが公開されながらも美しく保存されている様に感服し、イギリスの「古いものを大切に」という考えに非常に共感しました。それ以来、徐々に「修復・保存」という職業を考えるに至ったので、私にこの道に踏み出すきっかけを与えてくれたのは、先生なんです。縁とは不思議なもので、現在



平田さんの手により修復を施され、作品は見違える

お仕事をしている伊丹市立美術館には、松村先生や井野瀬久美恵先生から学んだイギリスの諷刺画が数多く所蔵されているので、甲南で学んだことを懐かしみながら作品を扱っています。思いがけないところで、英文学科で学んだ知識が生きているんですよ。

いま甲南大学の現役生の皆さんはどういう想いを持ちながら、学んでいるのでしょうか。私にとって甲南はいろいろな意味で目を開かせてくれた大学でした。松村先生以外にも、哲学の佐藤明雄先生など、人徳のある先生方が多く、また友だちも個性的な人が多くてホントにさまざまな刺激を受けました。おかげで私は、ここで自分の生き方を見つけたのだと思います。皆さんもこのキャンパスで学べるチャンスで、ぜひ将来に生かしてください。

卒業生に負けない、自分の生き方を見つけよう。

キャリアセンタースケジュール

[1・2年次対象]

進路発見ガイダンス

将来何になりたいか、考えたことがありますか？
「進路発見ガイダンス」で、「なりたい自分」と一緒に探していきましょう！

日時 2006年5月9日(火) 16:30～18:00

[3年次対象]

面接実践講座

面接突破に向け、少人数による模擬実践を通じ、面接の重要ポイントを個別にチェック・指導し、効果的な自己PRや動作を学びます。

日時 2006年1月9日(月)、10日(火)、11日(水)、12日(木)、13日(金)
1日4回開催／9:30～11:00 11:30～13:00
14:00～15:30 16:00～17:30

場所:平生記念セミナーハウス 参加費:500円

企業研究セミナー

2005年11月28日(月)～2006年1月16日(月)に実施するSセミナーに続いて、2月2日(木)からA・B・Cセミナーを行います。このセミナーは就職活動を行ううえで大変重要なセミナーです。民間企業への就職を希望する学生は、1社でも多く参加してください。

日時 2006年2月2日(木)～2月28日(火)(土曜日・祝日を除く)
Aセミナー／10:00～11:30 Bセミナー／13:30～15:00
Cセミナー／16:00～17:30

場所:1号館、5号館および8号館の講義室 内容:企業説明および質疑応答

合同企業研究セミナー

2日間にわたり合同の企業セミナーを実施します。ブース形式で一・二部ともに12社お招きするので、一度に多くの採用担当の方とお話しすることができます。

日時 2006年3月1日(水)、2日(木)
第一部／10:00～12:10 第二部／14:30～16:40
※1時間×2クール(クール間10分休憩)

場所:10号館講義室 内容:企業説明および質疑応答

企業研究講座 in TOKYO

首都圏で積極的に甲南大生を採用する予定の企業を招き企業セミナーを実施します。初日には、学習院大学をはじめとする首都圏にある大学の学生とのグループディスカッションや東京で活躍する卒業生との交流会を行い、2日目に合同企業セミナーを行います。就職活動に関西の地元に限らないで、ぜひとも参加してください。

日程 2006年2月12日(日)～13日(月) 1泊2日

会場:国立オリンピック記念青少年総合センター(渋谷) 定員:50名
選考:一次選考(履歴書と成績証明書)、二次選考(面接)
説明会:2006年1月6日(金) 16:30開始 511講義室

[全学年対象]

公務員・教員合格者報告会

公務員や教員を目指す学生は、低年次生もぜひ参加してください。

日程 2006年2月中旬予定

キャリアアップ講座ガイダンス(総合)

資格取得やキャリアアップを考えているけれど、何をすればよいのかわからない学生のためのガイダンスです。それぞれの業界で役立つ資格や、社会で求められるスキルがどのようなものかわかりやすく説明します。

日時 2006年4月6日(木)、10日(月) 16:30～18:00

インターンシップガイダンス

夏休みを利用してインターンシップに参加してみようと考えている学生を対象に、登録方法、スケジュールについての説明を行います。

日時 2006年4月17日(月)、18日(火) 12:20～12:50



ロンドンのヴァイクトリア&アルバート博物館で紙の修復を手掛ける平田さん。非常に細かい作業のため、緊張が走る。手術をする外科医もこんな気分なのかもと平田さん。

甲南フォーラム

KONAN FORUM

ダイジェスト

2005年度前期末 卒業証書・学位記 授与式を開催

9月16日(金)午前10時から、121教室で、2005年度前期末卒業証書・学位記授与式が行われ、文学部9名、理工学部14名(理学部6名を含む)、経済学部25名、法学部39名、経営学部18名、および大学院生1名に、卒業証書・学位記が授与されました。



経済学部夏期留学 エクステンションコース開講

経済学部夏期留学エクステンションコースが、9月9日(金)から17日(土)まで、EBA演習

③教員採用試験に向けた支援④卒業生教員との連携⑤各教育委員会との連携
本センターは、キャリアセンターをはじめ、関連する部局と緊密に連携しながら、より戦略的な方法によって、全般的に学生を支援することを目指します。

警察職員による 大学における講義実施

兵庫県警と警察大学校警察政策研究センターの共同により、本学法学部の平成17年度後期講義「刑事法特論」に講師として職員を派遣し、リレー形式の講義を9月23日(金)から実施しています。

法学部では数年前から裁判官や検察官などを講師に招いた講義を続けていますが、本講義は実務からの視点を講義に反映することにより、行政全体をバランスよく理解してもらうことを目的として、大学側が兵庫県警に講師の派遣を依頼し、実現しました。現役警察官による大学での単位認定講義は全国でも珍しく、学生は指定暴力団山口組の現状から国際テロ、被害者対策まで、犯罪捜査などに精通した警察官から「警察の今」を学んでおり、毎回興味深く受講しています。



兵庫県警察本部
坊野佳代子警視

秋期ジョイントセミナーを実施

国際交流センターでは、甲南生と交換留学生を合わせて約30名を迎えて、現代日本の文化状況について意見交換するために、10月11日(火)から12月22日(木)にかけ、4回にわたる

室(647教室)で開講されました。このコースは、英語力以上に、意欲、チャレンジ精神、コミュニケーション能力の向上を目指している学生に、さまざまな機会を提供することを目的として実施。午前は授業、午後は世界銀行に勤務している方や通訳として世界で活躍されている方などをゲストスピーカーに迎え、ディスカッションを行いました。午後の部では、英語の勉強のみならず、ゲストスピーカーのさまざまな経験聞くことができるため、学生は、「将来のキャリアデザインの参考にもなります」と積極的に参加していました。

第2回ビジネス・ イノベーション研究所 シンポジウムを北京で開催

ビジネスイノベーション研究所は、「日中経済連携と日本企業の対応について」をテーマとした第2回シンポジウムを、9月5日(月)14時から北京のダイキンVIP会議室において開催しました。

関西の対外経済交流において中国は最大の割合を占めており、日中経済連携と日本企業の対応について検討する場合、現地における中国側政策制定関係者の意見や、実際に現地で経営している日系企業の経営者、それらの経営を補佐している専門家の意見に耳を傾けることが重要である、との視点から、このたび以下の内容で実施しました。

- ①松下電工・株 海外事業統括担当常務取締役 田中弘司氏(前 中国駐在 松下電工中国統括会社総裁 総代表)「我が社中国現地法人グループの戦略と事業再編について」
- ②清華大学企業管理大学院副教授 石永恒氏(「中国の識者がみる」日系企業の中国現地経営について)

てジョイントセミナーを実施しています。毎回ゲストスピーカーを招いて問題提起をしていただき、それについて甲南生と留学生が入り交じった小グループでディスカッションを展開します。使用言語は甲南生は英語を、留学生は日本語を使うのが原則ですが、そこは臨機応変に、アカデミックな話題ながらもリラックスした雰囲気で行われています。

甲南学園関係者4名が 秋の叙勲・褒章を受章

11月2日、3日付けで、秋の叙勲・褒章受章者が発表され、香西泰氏(1951年甲南高等学校卒業、元内閣府経済社会総合研究所長)が瑞宝重光章を、山中均之名誉教授(元経営学部教授が瑞宝中級章を、中谷弘氏(1958年経済学部卒業、和歌山県木材協同組合連合会長・和歌山甲南会長)が旭日小綬章を、平野昌司氏(1964年経営学部卒業、神戸市議会議員)が藍綬褒章を受章されました。

学長顕彰

10月28日(金)および11月22日(火)に、課外活動などで顕著な活動をした団体および個人に対し、学長顕彰がありました。顕彰された団体および個人は次のとおりです。

- 体育会準硬式野球部
清瀬杯第37回全日本大学選抜準硬式野球大会において、見事全国優勝を成し遂げた。
- 平井 実紀さん(理工学部3年)
文化会書道部甲墨会に所属し、第10回全日本高校・大学生書道展において、1万1455点の応募の中から、最高賞にあたる全日本高校・大学生書道展大賞52点の中の「きくや筆本舗賞」を受賞した。
- 文化会囲碁 将棋部
平成17年度西日本学生将棋団体対抗戦に



③中倫金通運法律事務所中国涉外弁護士 吳鵬氏「日中ビジネス、トラブルの現状と対応について」

司会・コーディネーター：杉田俊明氏
(甲南大学経営学部教授、甲南大学ビジネスイノベーション研究所兼任研究員、中国中山大学企業管理研究所特約教授)

甲南大学に中国広東省 学生訪問団が来学

10月7日(金)、甲南大学は、兵庫県国際交流協会と協力し、平成17年度中国広東省学



出場し、9戦全勝で初出場初優勝という偉業を成し遂げた。

11月22日(火)

- 森本 真弥(経営学部1年)
体育会ヨット部に所属し、2005年全日本セーリング選手権大会で、シングルハンター級の部に出場し、国体選手を破り、見事優勝した。
- 体育会アーチェリー部
A・J・S・A・F・CUPで全国4位という輝かしい成績を修めた。

生訪問団を受け入れました。

当学生訪問団は、中国広東省学生が兵庫県の大学を訪問して、大学生と交流を行うことにより、学生の相互交流の充実を図り、兵庫県と広東省、ひいては日中両国の友好交流を、層促進することを目的としたもの。本学へは、中山大学、南方医科大学、広東工業大学の学生ら38名(スタッフを含む)の訪問がありました。

10時から、甲友会館にて歓迎セミナーが行われ、甲南大学からは、茶華道、能楽、コーラス、ジャズなどが、広東省の訪問団からは、コーラス、舞踊などが披露されました。その後、昼食をはさみ、午後は211講義室で甲南大学の中国語クラスの学生と交流を行い、甲南大学の中国語教育及び国際理解の教育が紹介され、交流を深めました。

10月1日、 「教職教育センター」発足

大学で身につけた専門知識を生かすことのできる職業の一つに教職がありますが、近年は公立・私立ともに採用数が極めて少なく、非常に狭き門となっていました。その一方で、教育現場における教員年齢構成の不均衡も問題となり、今後は採用人数の増加が見込まれています。

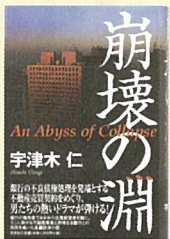
これらの情勢をふまえ、甲南大学では教職を目指す学生たちを支援する組織として、2005年10月1日に「教職教育センター」を発足。本センターは在学生を対象とした教員免許取得までの学修支援のみならず、採用試験合格を目指す卒業生をも対象とし、教員採用試験に関する情報提供・指導を行なうことを目的としています。

「教職教育センター」では主として次のような業務を行います。

- ①教職教育カリキュラムの検討・開発②教員採用に関する情報収集と、学生への提供

山野ビッグバンドジャズ コンテストで崎田治孝さんが 最優秀ソリスト賞を受賞

8月20(土)・21日(日)に、東京府中の森芸術劇場で、大学ビッグバンドジャズオーケストラの日本一を決定する「第36回山野ビッグバンドジャズコンテスト(山野楽器主催)」が行われ、文化会JAZZ研究会所属の崎田治孝さん(文学部3年)が、個人の部で、見事最優秀ソリスト賞(ドラム)に輝きました。



崩壊の淵
宇津木 仁
[甲南高等学校卒] 著
文芸社 ¥1,995(税込)



京のかをり
東後安邦写真集
東後安邦 [1955年
経済学部卒] 写真
東方出版 ¥1,260(税込)



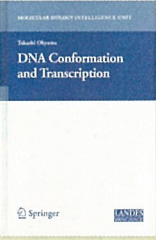
はなはなみんみ物語
本庄ひさ子 [1972年
文学部卒] 絵
わたりむつこ 著
リブリオ出版 ¥1,050(税込)



関与と観察
中井久夫 [1952年
甲南中学・高等学校卒]
みすず書房 ¥2,730(税込)



被疑者取調べ可視化のために
オーストラリアの録音・録画システムに学ぶ
渡辺修 [法科大学院教授]
山田直子 編
現代人文社 ¥2,940(税込)



DNA Conformation and Transcription
大山隆 [理工学部教授]
Springer (New York) and
Landes Bioscience (Texas)
\$134



蝶と草花
上村和義写真集
上村和義 [1972年
経営学部卒] 写真
東方出版 ¥1,260(税込)

体育会水泳部が1部に昇格

7月29(金)～31日(日)に行われた第79回関西学生選手権水泳競技大会において、水泳部が男子2部で400mメドレーリレー、800mフリーリレーで優勝を果たすなど、総合得点で大阪経済大学、京都大学を引き離し、1位を獲得。また女子2部では、800m自由形で優勝、400mメドレーリレーで2位など、総合得点で同志社大学に続き、2位を獲得しました。2部の上位2校が1部へ昇格となるため、水泳部は男女とも1部へ昇格を果たしました。

体育会弓道部創部50周年・甲弓会45周年記念式典開催

体育会弓道部は1956(昭和31)年に創部されて以来、関西1部リーグ3連覇(男子)、全国王座決定戦優勝(女子)など、輝かしい戦績を収めてきました。これらの歴史を振り返ると共に、現役部員と甲弓会(OB/OG)との結束を固め、今後50年に渡り強い甲南を作るための決起会として、8月13日(土)、ホテル竹園荳屋にて記念式典を実施しました。式典は顧問、師範、諸先輩方の挨拶から始まり、現役へのカンパ、校歌及び遠征応援歌の斉唱など、さまざまな催しが行われ、卒業生約100名、現役部員43名が楽しく交流することができました。その様子は甲弓会Webサイトに掲載していますので是非アクセスしてみてください。
<http://kobe.cool.ne.jp/kokyumaster/>

〔朗報〕11月6日(日)に行われた男女入れ替え戦で、ともに関学を破り、男女とも関西リーグ1部復帰を果たしました。

体育会準硬式野球部が第37回全日本大学選抜準硬式野球大会で優勝！

8月27日(土)から行われた清瀬杯第37



回全日本大学選抜準硬式野球大会において、甲南大学は最終日31日の決勝まで勝ち進み、石川県立野球場で法政大学と戦い、3対2のサヨナラ勝ちで、初優勝を果たしました。優勝インタビューで、山下昌起主将(経営学部4年)は「勝ちたいという気持ちを全員で再確認し、気持ちを切り替えたのがよかった。チーム全員で勝ち取った優勝です」と語りました。

甲南大学第1回卒業生有志が記念植樹

10月17日(月)、甲南大学第1回(1955年)卒業生の有志93名(当日の出席者20名)が、卒業50周年を記念して甲南大学中庭(平生飢三郎先生寿像西側に「タイサンボク」を植樹しました。



吉沢英成甲南学園副理事長(左)、小泉進吉氏(1955年経済学部卒)(右)

今後の予定

社会人講習会「言語講座」(前期)

〔日程〕5月6日～7月8日までの毎週土曜日(全10回)
※7月15日予備日
〔場所〕6号館マルチメディア教室
〔プログラム〕初級英会話(2クラス)、中級英会話(2クラス)、ドイツ語入門、ドイツ語中級、ドイツ語上級、フランス語初級、フランス語会話・中級、フランス語会話・上級、中国語会話初級、

優秀課外活動団体・個人に甲南大学同窓会長賞を授与

11月6日(日)、平生記念館で行われた同窓会総会で、平成17年度優秀課外活動団体・個人に対して、甲南大学同窓会賞・同窓会奨励賞が授与されました。表彰式では吉原会長より表彰状と副賞が授与され、会場は盛大な拍手で包まれました。

- 甲南大学同窓会長賞
体育会準硬式野球部 体育会ヨット部 体育会アーチェリー部
- 甲南大学同窓会奨励賞
体育会陸上競技部 体育会弓道部 平井 実紀(文化会書道部甲墨会・理工学部3年)

現行司法試験に法科大学院から2名、合格

法科大学院生の稲田優さん(既修2年目)と和島美枝子さん(既修1年目)の2名が、現行司法試験に合格されました。法科大学院の授業と併行して現行司法試験の受験勉強を重ねたおふたりの努力が実りました。

公開講座 体験記

あなたも、もう一度キャンパスへ！ 社会人の大学

甲南大学には、卒業したあなたがもう一度学ぶ場があります。ここでは甲南で学ぶ社会人の姿をレポートします。

教え方だけでなく、先生の人柄もとても魅力的！

夏期公開講座「バドミントン教室」に参加！

金澤陽子さん



甲南のバドミントン教室を知ったのは、若屋で同じスクールに通うバドミントン友だちから。夏休み前になると彼女らが来て「甲南大学の鶴木先生の講座がはじまるので、申し込みを忘れないようにしないと」と言うので興味を持ち、2003年から参加し始めました。鶴木先生のバドミントン教室は噂になるだけあって、やっぱりすごい。「回内回外」という腕の使い方を先生は提唱されているのですが、その通りにすると確かにすごいスイングを打て、気持ちいいんです。また先生は教え方がうまいだけでなく、お人柄が魅力的ですから、私もすっかり先生のファンになってしまいました。私自身もコミュニケーション力で子どもたちにバドミントンを教えている立場ですが、ここでも先生から教わった知識を生かしています。ある程度バドミントン経験がある人も、初心者の方もレベル別に教えてもらえるのでぜひ参加してみてください。

役立つ知識を得ただけでなく、懐かしい気分を味わえました。

秋期公開講座「会計情報と会計プロフェッションの使命」に参加

高原徹さん



来年から会計大学院で教鞭を執られる先生方が、それぞれの立場から会計の知識をレクチャーしてくださる公開講座に参加しました。こういう講座は初めてですが、ちょうどディスクロージャー関連の仕事に携わっており、会計の専門知識を得たいと思っていたところでしたから、軽い気持ちで申し込みました。実際に受けた講座では、かなり専門的な内容に驚く部分もありましたが、どの先生方も新聞の話題などを例にわかりやすく話してくださいだったので、勉強になりました。とくに6日目の最後の講座では、現役の公認会計士の方が会計の現場を語ってください、非常に興味深い内容でした。久しぶりに大学生気分を満喫できたことも貴重な体験だったと思います。

お詫びと訂正

●前号の15ページに掲載しましたが卒業生、高橋けい子さんと柳寛子さんのコメントはご本人の発言内容と異なっていました。ここにお詫びし、お二人のコメント全文を削除させていただきます。

前回プレゼント当選者発表

「甲南Today No.22プレゼント」にご応募いただき、ありがとうございます。厳正なる抽選の結果、当選された皆さまを発表します。

甲南ネーム入りクロスのボールペン & シャープペンセット 当選者

柴田 達司さん(55卒)
谷口 明多さん(62卒)
宮脇 理恵さん(90卒)

PRESENT ベルリン・フィルによる 貴志康一のCDを進呈！



ベルリン・フィルを旧制甲南高等学校卒の作曲家、貴志康一が指揮した音色を今に。この魅力的な調べをCDで5名様にプレゼントします。ご希望の方は、同封のアンケートハガキにてお申し込みください。応募締切は2006年1月末日到着分までとさせていただきます。

〔日程〕3月15日(水) 14時～16時
〔出演者〕ヴォルフガング・ベツチャー(チェロ) ※元ベルリン・フィル首席チェリスト 益子明美(ピアノ)
〔場所〕甲南大学 甲友会館大ホール
〔入場料〕無料
〔問い合わせ先〕甲南大学父母の会事務局
TEL 078-435-2610

甲南大学父母の会主催 「チェロとピアノのコンサート」

〔問い合わせ先〕甲南学園広報部
TEL 078-435-2314

〔申込期間〕4月10日(月)～19日(水)(予定)
〔申込方法〕往復ハガキ消印有効
〔講師〕甲南大学文学部 中島俊郎教授 ほか

〔受講料〕3,000円(6回分、テキスト等資料代、消費税含む)

〔定員〕200名(一般社会人)

〔時間〕10時～11時30分

〔場所〕5号館1階511講義室(予定)

〔問い合わせ先〕国際言語文化センター事務局
TEL 078-435-2326

〔申込方法〕往復ハガキに〇〇クラス申込書と書き、住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号を、また返信ハガキに受講票送付先住所を明記して甲南大学国際言語文化センター事務局へお申し込みください。

〔申込期間〕4月3日(月)～12日(水)

〔受講料〕受講料15,000円(英語・ドイツ語・韓国語・フランス語初級)・18,000円(中国語)・25,000円(フランス語会話・中級・上級)

〔申込方法〕往復ハガキに〇〇クラス申込書と書き、住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号を、また返信ハガキに受講票送付先住所を明記して甲南大学国際言語文化センター事務局へお申し込みください。

〔申込期間〕4月3日(月)～12日(水)

〔受講料〕受講料15,000円(英語・ドイツ語・韓国語・フランス語初級)・18,000円(中国語)・25,000円(フランス語会話・中級・上級)

〔申込方法〕往復ハガキに〇〇クラス申込書と書き、住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号を、また返信ハガキに受講票送付先住所を明記して甲南大学国際言語文化センター事務局へお申し込みください。

〔申込期間〕4月3日(月)～12日(水)

〔受講料〕受講料15,000円(英語・ドイツ語・韓国語・フランス語初級)・18,000円(中国語)・25,000円(フランス語会話・中級・上級)

〔申込方法〕往復ハガキに〇〇クラス申込書と書き、住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号を、また返信ハガキに受講票送付先住所を明記して甲南大学国際言語文化センター事務局へお申し込みください。

2006年度 オール甲南の集い

2006年8月5日(土)に開催決定

卒業生、在校生、父母の皆さま、またそのご家族まで、甲友ファミリーのあなたとつくる、年に一度の大同窓会『オール甲南の集い』を、来年は8月5日(土)に開催します。詳しい内容等については、次号の甲南Today(2006年5月発行予定)にてお知らせいたします。ご家族、ご友人とお誘い合わせて、ご参加ください。

お問い合わせ

甲南学園広報部
TEL 078-435-2314

◆次号は2006年5月発行予定

甲南Today No. 23

発行日/2005年12月20日
発行/甲南学園広報部
〒658-8501 神戸市東灘区岡本8丁目9-1
TEL (078) 431-4341 (代)
印刷/大日本印刷株式会社

EVENT SCHEDULE

12月

●授業且終了(22日)
冬季休業(23日～1月4日)

1月

●授業再開(5日)
●平成17年度授業終了(16日)
●後期試験(17日～30日)
●大学入試センター試験(21日・22日)

2月

●入学試験E日程(1日)
●入学試験A日程(2日～6日)
●入学試験合格発表(14日)
●父母の会課外活動表彰式(中旬)
●文化会リーダーズキャンプ(下旬)
●法科大学院11次募集(1次選考)(25・26日)
●課外活動団体指導者懇談会

3月

●学士入学願書受付(1日～10日)
●2005年度卒業生発表(3日)
●入学試験B日程(4日)
●入学試験合格発表(9日)
●法科大学院11次募集(2次選考)(11日)
●学士入学発表(11日)
●2005年度卒業証書・学位授与式(25日)

4月

●2006年度入学宣誓式、父母の会新入会員歓迎会(1日)
●スポーツ推薦入学者対象キャンパスライフガイダンス(1日)
●2006年度授業開始(5日)
●受講届受付
●対学習院大学運動競技総合定期戦開会式(22日)

5月

●甲南大学教育懇談会・父母の会総会(13日)